

よんでみよう(22)

カッコよくいきたい

～心に、きみのヒーロー～

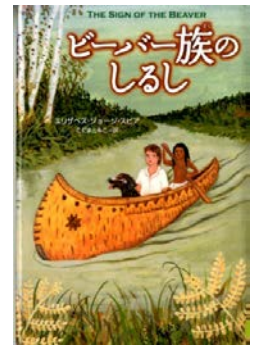
高学年対象

ビーバー族のしるし

エリザベス・ジョージ・スピア／作

こだまともこ／訳 あすなる書房

18世紀、アメリカ。大森林の中に父さんとマットは丸太小屋を完成させた。父さんが家族をむかえに行く間、マットは一人で小屋を守ることに…。見知らぬ男に大事なライフルをうばわれ、クマに食糧をあらされ、ぼう然とするマットを助けてくれたのは、インディアンの老人と少年だった。彼らとすごした数カ月の物語。



チームふたり

吉野万理子／作 宮尾和孝／絵 学研

小学生最後の大会目前、大地は誠と最強ダブルスを組むはずだった。しかし先生がパートナーに指名したのは、まだ弱い下級生。順調に練習を重ねる誠を横目に気持ちの整理がつかない大地だが、大地の家族にも暗いニュースが飛びこんでくる。



ウィロビー・チェースのオオカミ

ジョン・エイキン／作 こだまともこ／訳

パット・マリオット／画 富山房

大屋敷ウィロビー・チェースに、親の留守を守るため家庭教師がやってきた。ところがこの家庭教師、高原をうろつくオオカミのように恐ろしい女だった。ポニーとシルビアは、屋敷を乗っ取ろうとする女に立ち向かうが……。

「ダイドーの冒険」シリーズ第1巻。



夏の庭

湯本香樹実／作 徳間書店

少年たちは、もうすぐ死ぬとうわさの老人を観察することにした。人が死ぬところを見たい、という好奇心からだ。外出せずゴミだらけの家に住む老人は、少年たちに気付くと…。やがて少年たちは庭に花を植え、老人は身の上を語り出す。わすれられないひと夏。



グリーンフィンガー

ポール・メイ／作 シャーン・ベイリー／絵

横山和江／訳 さ・え・ら書房

ケイトの家族は田舎に引っこした。ボロボロの家の修理に熱中する父と、都会での仕事をあきらめられない母の気持ちはどんどん離れていく。字が読めず、心を閉ざしていたケイトは、母を引き止めるため、雑草にうもれた庭の手入れをはじめ。庭と家族の再生の物語。



ぼくはおじさん

山下奈美／作 篠崎三朗／絵 小峰書店

大志の兄は16歳も年上。まもなく赤ちゃんが生まれる。兄とは仲が良くないうえに、12歳でおじさんになるなんて…。ゆううつな毎日、好きな剣道まで思うようにならない。爆発しそうな気持ちをかかえながら、大志は道場へ向かう。兄が指導にこない事を願って。



うさぎの庭

広瀬寿子／作 高橋和枝／絵 あかね書房

内気で、人と話をするのが苦手なぼく。唯一の心の友は、うさぎのチイ子だけだ。変わりたくても変われないぼくに、転校してしまった小野くんがくれた置き土産は、あるおばあさんとの出会いだった。自分をうまく表現できない修に訪れる出会いと別れは、切ないが未来を感じさせる。



トメック さかさま川の水1

ジャン＝クロード・ムルルヴァ／作 堀内紅子／訳

平澤朋子／画 福音館書店

聖なる山に向かってさかさまに流れるクジャー川。その水を飲むと死ななくなるという。クジャー川の水を求めて旅だった少女ハンナと、ハンナをさがすトメックの旅。巨大熊の森、ねむりの花畑や香水の村での出会いと別れ。

同じ旅をハンナの目線でえがいた『ハンナ』もどうぞ。



花火師リーラと火の魔王

フィリップ・プルマン／作 くすはら順子／挿画

なかがわちひろ／訳 ポプラ社

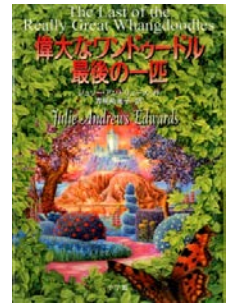
女の子が花火師になるなんて！反対する父親に反抗し、花火師になるため山に向かうリーラ。それは予想をこえる困難な旅だった。リーラの命の危険を知り、追いかける友人チュラクと白い象、果たして間に合うのか。リーラをとりまく、ちよっぴりユーモラスな人々も魅力的。



偉大なワンドゥードル最後の一匹

ジュリー・アンドリュース／作 青柳祐美子／訳 小学館

ただ一匹生き残っているというワンドゥードルを求めて、教授と三人の兄妹は旅に出た。後へはもどれない、秘密の旅。ワンドゥードルランドに人間が入ることを望まない首相のぼう害ははげしさを増す。歌をかなでる川や虹のような羽を持つウィッフルバード、美しい世界へようこそ！



ペチカはぼうぼう猫はまんまる

やえがしなおこ／作 篠崎三朗／絵 ポプラ社

「思いえがただけで体がふるえだすような建物を建てたい」。それが大工の望みだった。そんな大工の前にやってきた悪魔は、すばらしい教会を大工に見せ、誘惑し、取引しようとする。畏とわかって、教会が心からはなれない大工は……。昔話風の短ぺんが5話



バンビ 森の、ある一生の物語

フェーリクス・ザルテン／作 上田真而子／訳 岩波書店

森のくらしを子鹿の目を通してえがいた物語。動物たちが恐れているのは、犬をしたがえ第三の手をもつ「あいつ」。その手が火をふくと仲間がたおれるのだ。「あいつ」は万能なのか？ 敵におそわれ、冬の寒さにこごえながらも、美しい季節をおう歌するバンビと仲間たち。見守る古老の言葉も心に残る。



ぼくは「つばめ」のデザイナー

水戸岡鋭治／著 講談社

世界的な車両デザイナーによる、九州新幹線800系誕生までの物語。ざん新なデザインの車両が写真や図で紹介されています。著者のデザインへのこだわりと、仕事への情熱が感じられる一冊。鉄道ファンやデザイン・ものづくりに興味ある人はもちろん、「仕事」や「将来」を考える全ての人におすすめです。



世界の言葉で「ありがとう」ってどう言うの？

池上彰／著 稲葉茂勝／著 今人舎

東日本大震災後、世界中から救援隊が来日。どこの国から、どんな人々が来てくれたのでしょうか？「ありがとう」という言葉を通して、救援隊の母国を紹介します。「日本語を国語とする」という法律の無い日本、法律で国語を決めなければならない国、いくつもの公用語がある国。言葉を通して、歴史や文化をかい間見ることができます。

